

# Kansai

会報

No. 115

1993

JAN

## 《 目 次 》

|                       |          |
|-----------------------|----------|
| 理事長年頭の挨拶              | 2・3      |
| 台湾演奏旅行の報告             | 4・5      |
| 第3回関西ハーモニカ祭から         | 6        |
| わがハーモニカ人生             | 7・8・9    |
| パリの空の下                | 10・11    |
| How To Enjoy Ensemble | 12・13・14 |
| 関西ハーモニカポップス定演         | 15       |
| 町田明夫をゲストに世界民謡         | 16       |
| 「実験工房」から・新会員紹介        | 17       |
| 各地のたより・ハーモニカ教室の追加     | 18       |
| FIH ハーモニカ・テープ・コンクール   | 19       |





## 新年のご挨拶

関西ハーモニカ連盟理事長 仲 村 眞

皆様 新年明けましておめでとうございます。昨年中は会員各位の情熱によりハーモニカ教室や会員の増加があり、連盟行事においても積極的かつ発展的な活動を為し得て新しい年を迎えることが出来ました。これもひとえに顧問の先生方、理事の皆様方、会員各位と関係者の多大なご協力ご援助の賜であると存じ、ここに深く感謝申し上げる次第でございます。有り難うございました。

昨年の活動行事をふり返ってみますと、まづ何と言っても当連盟が総力をかけて行ないました第3回ハーモニカ祭りの成功です。素晴らしい会場の「ならまちセンター」で、延々6時間に及んだ熱気溢れた演奏会は、聴衆の中から新たに熱烈なハーモニカ愛好者（通称ハモキチ）を作り出した様です。

演奏会の成功は関係各位の情熱とご協力によるものであることは言うに及びませんが、困難なこの会場確保から接渉設定まで、（さらにご自身らのみごとな独奏や重奏も含め）大黒柱として奮迅の活躍をしていただいた上本洋副会長に特に感謝申し上げなければなりません。有り難うございました。本当にお疲れ様でした。

さて、連盟の2大行事となりました他地方への演奏旅行は、去年は10月末から11月にかけて台湾へ参りました。現地で熱烈的な歓迎をいただいた後、高雄と台北で行なわれた2度の合同演奏会は熱気と感動を呼んで、大成功裡に終り、無事帰国いたしました。（詳細は副団長として同行された常任顧問の吉森正隆氏より別記報告があります。）

今回の台湾演奏旅行は長年にわたり現地の方々と深い交流を保ってこられた当連盟の常任顧問、酒井涼爾氏の存在があって可能となり得たことを特記させていただくとともに、この度の合同演奏会が現地のハーモニカ愛好者との架橋として大きな意義があったものと確信いたします。ついでながら酒井氏は団長として演奏会の設定、交渉から熟練の業者の選定、知り尽くしておられる台湾の魅力をいつもの細かいお心遣いをもって、旅の楽しさも十分に味あわせて下さいました本当に有り難うございました。また折もよく一昨年に米国のデトロイトで開かれた世界ハーモニカ・コンテストで優勝された吉森氏が我々の遠征の少し前に台湾でのコンテストの審査委員長として招かれていたことも今回の演奏旅行を前に、人的交流の巾を加えていたことも見逃せないと思います。

さらに、この演奏旅行には東京から特別顧問の森本恵夫氏に参加して頂き（氏はこれまでに四国の高松〈1989年〉、佐渡・長岡〈1990年〉、九州の博多〈1991年〉という演奏旅行にずっと参加してこられました。）演奏会に大輪の花を添えて下さいましたことをご報告しておきます。

さて、連盟にとって損失であったことは、昨年4月2日に常任理事真田茂夫氏が、続いて4月23日に顧問の鈴木弘道氏が相次いで亡くなられました。真田氏

は一昨年5月より富田林市でハーモニカ教室を開講されて指導に当たっておられたのが中断されてしまい大変残念です。(教室は当時のメンバーが自主的に同好会を作って活動しているようです。)鈴木弘道氏の教室は、その後宇治の村田潤氏が指導に当たっておられるとのことで悲しみの中にも、それを乗り越えて火を断たなかったことに、ほっとひと息つくおもいです。

ハーモニカを習いたいという人はまだまだ潜在的に多く、昨年開講された大阪は梅田のNHKハーモニカ教室(常任顧問の蔭山孝太郎氏よりご紹介があり、結局講師を白鳥達夫氏にお願いしています。)も新しい方が増えつつあり、さらに東京のトンボ楽器の竹田氏より、大阪の堺の楽器店がハーモニカ教室を開講したいと言ってきました。講師は常任理事の後藤貞男氏の予定です。

このままでは、恐らく関西でも指導者不足が問題になってくると思いますが、皆様のご協力を得て何とか頑張っていきたいものであります。皆様本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 平成5年度関西ハーモニカ連盟総会

- と き 平成5年1月17日 (日曜日)
- 役員会 午後1時
  - 総 会 午後3時
  - 新年懇親会 午後4時～6時30
- ( 新年懇親会参加費 ¥ 5,000 )

ところ 大阪市中央区大手前3丁目1-40  
大阪けいさつ会館  
※地下鉄谷町線・谷町4丁目駅下車①号出口より東北へ3分

議 題 平成4年度事業経過報告  
平成4年度収支決算報告  
平成5年度事業計画について  
そ の 他

◎ 年と共に充実されていく当連盟の、新しい年を迎えた総会です、奮ってご参加下さい。



## 台湾演奏旅行の報告

吉 森 正 隆

参加人員31名。10月30日大阪空港発、台北到着後、故宮博物館の見学、忠烈祠の衛兵交替の見学等を済ませ、国聯大飯店で旅装を解き、台湾側の歓迎会が海鮮料理の店「海霸王」で開かれ、全員手厚い持て成しを受け大感激。小生は8月の口琴節の出席もあり全員顔馴染みで、二ヶ月振りの旧交を暖めあった。

宴半ばとなり日中双方より演奏開始、日本側から平瀬・加久田・千田・後藤・今井・吉村の各氏が出演。台湾側からも多数の演奏があり盛り上がりを見せ、時間のすぎるのを忘れる程でした。中でも喜ばれたのは、台湾の第一人者 盧 鴻麟先生（通称 SIMBA LU）が、湯の町エレジーを中国語で「温泉的吉他」として編曲していたのを知っていた小生が即興で、彼との二重奏を演奏、続いて彼の荒城の月にも即興でバックを付けたのが大当たり、続いて小生の何日君再来のソロ、締めくくりは森本恵夫先生のマラゲーニャでお開きとなりました。

翌31日は、早朝 台北から国内線台南空港へ、台南市内・延平郡王祠・安平古堡の見学、バスで高雄へ、澄清湖・壽山公園など高雄市内観光を済ませ、華国大飯店にチェック・インして、演奏会場の中正文化センターへ、音響調整等を済ませ7時30分開演ベルとともに、行進曲「雷神」の演奏が会場一杯に響きわたり万雷の大拍手で迎えられました。中国側の歓迎挨拶、日本側から酒井涼爾団長の答礼挨拶があり、続いて中国民歌・高山青・日本の柔・タンゴ夜明・タンゴさらば草原・ベルジャの市場にて、これでPART I 終了、PART II は中国側より南区口琴愛楽合奏隊による四季協奏曲（春）（冬）

劉 志明のミニ・ハーモニカによる龍的傳人、苑 永奏のハンガリアン・ダンス5番、陳 永河のノールウェイ舞曲、台北黄石口琴楽団のロシア民謡、蕭 莉君、盧 鴻麟の椿姫二重奏、口琴之友合奏隊のカレリア行進曲とハンガリア狂詩曲2番、PART III は吉森正隆 ソロ荒城の月・龍的傳人、アンコール ラ・クンバルシート、森本恵夫 マラゲーニャ・禁じられた遊び、アンコール 小曲トリオ（酒井・吉村・吉森）台湾民謡（杵 歌）、森本氏プラスで、夜霧のしのび逢い（この曲が今回の演奏会のプログラムの表紙を飾る曲で曰く「霧夜の约会」と翻訳されて、中日口琴音楽交流演奏会のテーマとなっております）。

最後に、日本側の演奏、中国頌歌の合奏があり、中国側登場 合同演奏で旧友行進曲を演奏、大拍手のアンコールで台湾の子守歌、再度のアンコールで、旧友の後半を手拍子いりで演奏、演奏会は予定を大きくオーバーしましたが、夜の遅いのは苦にならない土地がら、我々も睡眠時間を縮めて六合市街夜市の観光に出かけ、演奏会の空腹をみたく。

翌11月1日は、高雄空港9時20分出発台北松山空港到着10時0分、郊外の烏来（ウーライ）の高砂村の見学、時間外のショー・タイムの特別出演でタイヤル族の踊りを鑑賞、我々団員も仲間に加わり舞台へ上り若い娘た

ちと肩を組んで愉快的一時を過ごした。

この劇場の昼食で雉子・鹿などを食す。台北市内へ戻りショッピング後ホテルへ、小憩後夜の演奏会場「中央ホール」へ、準備後7時30分開演、PART I は高雄同様のプログラムで進行、PART II は台北市中山国小口琴楽団（小学校）大合奏、指揮は 楊 樹林（8月の時も今回もこの先生が何時も一緒に、しょっちゅう乾杯を強要されたが、ハーモニカの教則本の自己出版したのや、前回口琴の写真を多数贈ってくれたり、今回は私も贈物をしたりで、黄石トリオの諸君と共に将来とも有力な朋友（ボンユウ）となった。

合奏曲目は、双頭の鷺の旗の下に、ハンガリアン・ダンスNo. 5、台湾民謡組曲、ソロは 陳 鴻儀、合奏は口琴之友合奏隊 北分隊、の四季協奏曲の春と、或許巴 愛、鄭 俊仁のバッハのスケルツォと懷春的黄鶯、PART III は高雄と同様吉森・森本のソロ、トリオとカルテット、中国合同演奏で閉幕、中国側では何と言っても黄石三重奏団（廬 鴻麟、蕭 莉君、李 孝明）二重奏の（廬 鴻麟、蕭 莉君）が出色で、この二人のソロも素晴らしい、蕭 莉君は今回の演奏旅行の担当で小生とも度々連絡文通をし、前回帰途、廬 君（28歳）と共に中山紀念堂へ案内してくれた女性で、この時20歳の誕生日と聞いた、小生の手元にあるトリオの写真は、1987年1月の日付があり、このトリオで少なくとも5年間は、毎日練習をしている事になる。

蕭 莉君は、復音のソロ、バス、コード、合同演奏ではソプラノ・ホルンで小生の横で「旧友」を吹いたが、大きな音、正確な音、小生を凌ぎ舌を巻いた。素晴らしい女性で、蕭 君と共に、近い将来世界コンテストで優秀な成績を挙げるものと期待している。

翌2日は、中山紀念堂の見学、蔣 介石を尊敬する台湾人の全てを注力した立派な建物や門、国立の音楽堂等、正に台湾の粹を集めた美観である。

午後、中山国際飛行場より大阪へ向け出発、全員何の故障も無く無事大阪空港に到着、三泊四日の関西口琴合奏団（関西ハーモニカ連盟）の演奏旅行は、無事大成功裡に終了した。本演奏旅行の実施に当たっては、常任顧問であり、今回の団長である酒井涼爾氏（関西ハーモニカ・ポップス会長）の台湾側代表の廬 鴻麟氏との数々のファックスの往復、旅行社との折衝等、大変な努力を払っていただいた事に、参加者を代表して厚くお礼申し上げます。

当連盟も、活動再開以来、佐渡・長岡地区との合同演奏会、九州ハーモニカ連盟との合同演奏会、今回の台湾、台北・高雄の合同演奏会と復活第3回のハーモニカ祭りと多彩な行事を続けており、来る1995年の世界ハーモニカ・フェスティバルに向けて、関西ハーモニカ連盟として大きく貢献出来るよう、役員各位のご尽力を期待して今回の中日口琴音楽交流演奏会のご報告といたします。

関西ハーモニカ連盟 常任顧問

## ＜第3回関西ハーモニカ祭＞ を終えて

新井善久

冒頭にあたり素晴らしい演奏会を無事終了できましたことは、担当役員をはじめ各会員の方々のご協力の賜と深く感謝いたします。

従来は、大阪・神戸・京都の各市で開催して来ましたが、今回初めて奈良市で開催することが出来ました。これには担当者は勿論当連盟副理事長の上本洋氏の大変なご努力に負うところ大であります。

さて、会場につきましては参加された方は、十分満足されたことと存じますが、紙面で少し紹介しますと有名な奈良の猿沢池の南側にある建物「奈良市ならまちセンター」で、内部はシンプルな感覚に溢れ、近代的な設備が整ったうえに、音響効果も申し分ない素晴らしいホールでした。

その上、後援には従来の音楽関係団体はもとより、公の団体である奈良市・奈良教育委員会からも後援があり、また奈良市議会議員の米寶の挨拶、森本恵夫先生のゲスト出演、地元テレビの放映等いやがうえにも盛り上がった一日でした。ご来聴の人や奈良市の多くの人にハーモニカの良さを再認識していただけたのではないのでしょうか。

プログラムに目を移しますと、出演57番の内、二重奏・三重奏・四重奏、そして他人数の合奏が16件もありました。全体の3分の1が合奏で延人数が大きくなりました。これはハーモニカの底辺が大きくなって来たことの現われでしょう。今更なんです、ハーモニカの良さはコンパクトであり独奏ではメロディーのみの演奏から、ベースでリズムを加えたり分散和音を加え伴奏も併せて出来ることでしょう。合奏は一人では表現できない部分を分担して音楽の幅を大きくし、より高度な演奏が可能となりますので、合奏が増えたことは大変喜ばしいことだと思います。独奏のみの指導から合奏の指導も可能な人が増えたことの証明でしょう、それに編曲者も新しい名が見られ心強い限りです。

演奏者・指導者・編曲者が一体となって益々の発展が予想されます。独奏・合奏ともさらなる躍進が期待されます。

最後に会員皆様のご支援とご協力のお陰をもちまして何とか一年が終わりました。また平成5年もよろしく願い申し上げます。

関西ハーモニカ連盟事務局長

昨年当連盟副理事長と会計部長が転居しました。

|      |      |     |                         |
|------|------|-----|-------------------------|
| 副理事長 | 西田幸司 | 新住所 | 〒658 神戸市東灘区住吉台2-4-2     |
| 同    | 上本 洋 | 〃   | 〒631 奈良市富雄北3丁目 21-5-301 |
| 会計部長 | 後藤貞男 | 〃   | 〒596 岸和田市春木旭町3-6-17     |

※ 住所変更の本誌へ掲載について、会員諸氏からご要望がありましたので、新年度からお知らせすることにいたしました。

## 楽しきかな、わがハーモニカ人生

酒 井 涼 爾

### 第 3 話

#### 六本のハーモニカ大陸に行く

——ハーモニカは戦場生活の支えだった——

私達の年代のハモニカを愛する人の多くは、戦場とハーモニカの思いでを抱いているに違いない。殺伐な戦場では、優しいハーモニカの音色が兵士たちの荒んだ気持ちを和らげ慰め、時には励ましてもくれた。

私も兵卒から下級将校までの七年間におよぶ戦場生活で、度々死に直面しながらも人間性を失なわなかったのは、子供の頃より愛し続けたこの小さな楽器のせいと信じている。

携行していった六本のハーモニカは、それぞれのエピソードを残して大陸の土と化した。その一つ一つの思いでは、50年を経た今も鮮烈に蘇り胸が熱くなる。その思い出を何回かに分けて綴ってみたい。

私がまだ一兵士として最前線で戦っていた昭和15年の早春の頃、東京の女性の春江が送ってくれた「大衆文芸」誌に、後に不朽の名作となった棟田博伍長の「分隊長の手記」が掲載されていた。そく中に、徐州会戦に参加する直前の貨車で、ハーモニカと兵隊の場面が、情緒豊かに描写されていて、その頃の私のおかれている状態とあまりにもよく似かよっているのに驚き、切り抜いて従軍手帳にはさみ、折にふれ繰返し読んだものであった。その一節には

「ごっとなごっとなと振動を伝える側板にもたれ、一服の煙草をすいながら、首すじを伝うこそばゆいような可愛いような汗の流れに、フト気をとられていると、突然、爽やかなハーモニカの音色が何処からか聞こえてきた。

耳をすますと、天上から降りそそぐかのごとき、妙なる美しい音は、遠く聞こえ、近くなりして「ドナウ河の漣」をかなでているのであった。

腰を上げて見渡すと、前車の側板に、両脇を立て、過ぎ去る車窓に向かい、ひとりの兵隊がハーモニカを頬張り、一心に吹奏しているのが見えた。汚れた手拭いで頬かむりをしている二ツ星の兵隊であった。

なんべんも「ドナウ河の漣」がつづき、蛍の光りになり、軍艦マーチになり、野崎参りは屋形船でまいる、というのになり、またもやドナウに帰っていった。その静かな、するするとすべるような美しい音楽の中で、僕はいつのまにやら眠っていたのである。」と描かれていた。

その頃、私の背嚢には、6本の音階の異なったハーモニカが入れてあった。本来携帯の許されないものであるが、戦場であるためか大目に見てもらえた。



それは小銃弾60発にも匹敵する目方で、作戦行動の身には大きい負担であったが、その一本一本に分身のような愛着がこめられて、いくら苦しくても手離すことができなかった。物言わぬハーモニカは、苦斗する戦場の私にとって、最もよき友であり、励ましてくれる肉親のような存在でもあった。

五十余年を経た今日、生き残った当時の戦友が集うとき、いつも耳にする私に対する印象は、

学生のようなだった。（黒い学生服のまま高田の連隊に入り目立った）

支那語が達者だった。（東京外語で学んでいたから）

ハーモニカがうまかった。（宮田東峰先生の直弟子であった）

などではあるが、私が勇敢であったとか、戦闘が上手だったなどの兵隊として自慢できる評価は、つい聞くことがない。

それでも私はいつも戦場では、心にゆとりと詩情をもって大陸を見ることができたし、温かい気持で中国人に接することができた。その戦場生活の中でハーモニカは、最前線時代も後方勤務時代も、その場その場で役割をはたし、最後の一本は私が大陸を去る日、中国人警察幹部の手に友情の証しとして、贈ったのであった。

#### 第 4 話

#### 女形は、やっぱり立って放尿した

揚子江沿岸の湖口に駐屯していた昭和15年の冬のことであった。その日は紀元節ではあったが討伐・警備・訓練に明け暮れていた私達は、城外の山野で、残雪を踏んで演習に余念がなかった。そこへ部隊本部から伝令が来て、私に『ハーモニカを携行して本部に出頭せよ』と伝えた。越智班長は、『何事か』と不安な目で私を見送った。しかしことは意外や、部隊本部でハーモニカを演奏してくれと言うことであった。

その数ヶ月前に大阪港を氏出帆し、中国大陸に向かう軍用船の御嶽山丸の船内で、演芸大会が催されたことがあった。同じ隊の親友であった伊藤丈夫君（常徳攻峯戦で戦死、後述）に推されて、私も出ることになった。

民謡の盛んな会津若松の連隊や、おけさの本場新潟の兵隊など名人芸達者が多かったが、私はハーモニカで一等になり、輸送指揮官の中家喜久治大尉より金一封（兵隊1ヶ月の給料より多い、大枚金10円也であった）を頂戴した。そんなことを、部隊副官中家大尉が覚えていたのであった。

部隊本部の、バラック建ての食堂兼講堂は、蓆を敷いて大広間に見立て、虎髭の佃利平大佐を中心に、海軍部隊も含めて30人ほどの将校が居並び、紀元節の祝賀宴を開いていた。その間をこの日だけわ国防婦人会と染めた白い環をかけた数名の日本婦人（韓国籍の従軍慰安婦らしい）が酌をして廻っていた。



とうせ音楽には縁の遠い将校連中なので、私は持参のハーモニカで、「露営の歌」や「愛染かつら」など数曲の流行歌でお茶をにごしたが、次には女形の日本舞踊になった。踊りの曲目はコロンビヤレコードの「皇国の母」であったが、そのレコードは部隊にはなかった。幸い作曲の明本京静も唄の音丸も私はコロンビヤで顔見知りであり、楽譜は全部暗記していたので、私のハーモニカ伴奏で踊ることになった。

その兵隊は、色白小柄で華奢な体つきをしていた。髪がないので手拭で姉さんかむりをしていたが、従軍婦から借りたか、花模様の着物にはお白粉口紅で化粧をした女形っぷりは、本物の女性の従軍婦とて足元にも寄れない色っぽさで、女になり切った見事な踊りに、ヤンヤの拍手であった。歩兵か輜重兵かは定かではなかったが、あまりにも兵隊らしからぬ兵隊に、伴奏しながらも私はド胆を抜かれるのであった。

終わってから私もたっぷり飲まされて、その兵隊と便所へ小便に立つと、将校連中は『この女装の兵隊が立ってするか、しゃがんでするか確かめよ』とゾロゾロついて来た。しかしこの兵隊はやっぱり私と並んで、パッと着物の前をまくり上げて威勢よく放尿するのだった。

私が『君は本当に役者だったのかね』と聞くと、彼は『舞台にはよく出ていた』と答えた。それが旅廻りの女形なのか、村芝居のスターなのか知る由もなかったが、部隊長や将校達の前で、踊れた光栄が嬉しくて堪らないらしく、すっかり女形きどりで、片手を口に当て、「ホッホッホッ」と艶然と嬌声を立てた。

しかし私は、将校達にハーモニカが分かってもらえたのか、酒の肴にされたのか、何か割り切れない気持ちがいつまでも残るのであった。

関西ハーモニカ連盟常任顧問・関西ハーモニカポップス会長



楊子江より見た湖口赤鍾山

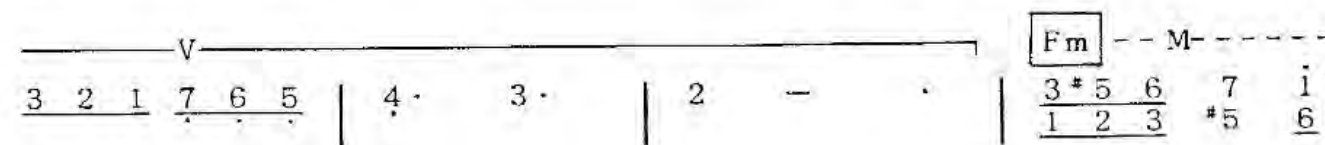
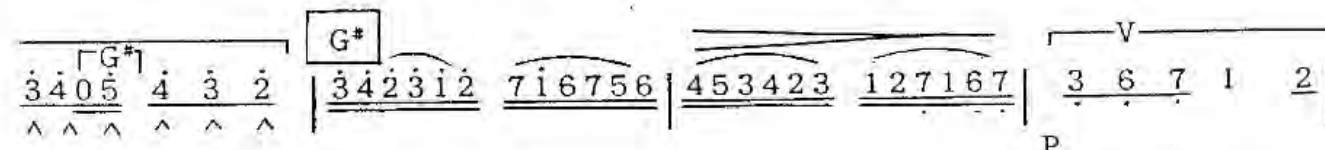
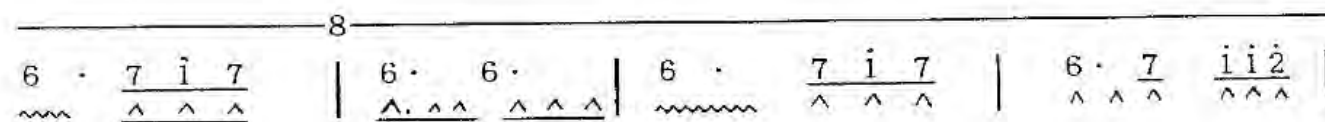
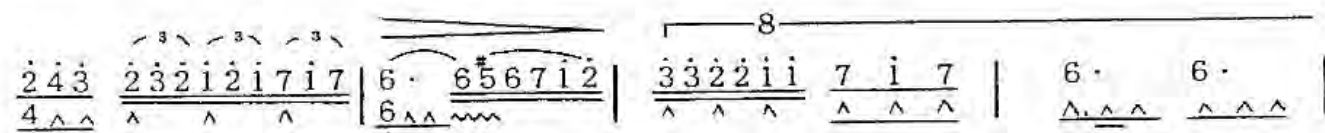
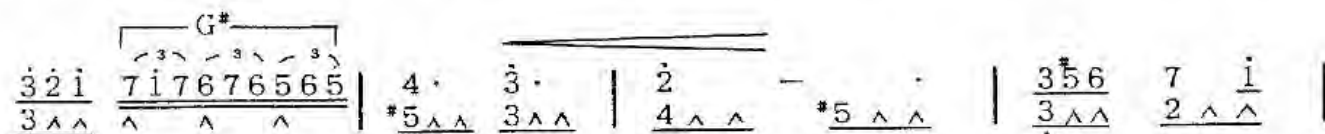
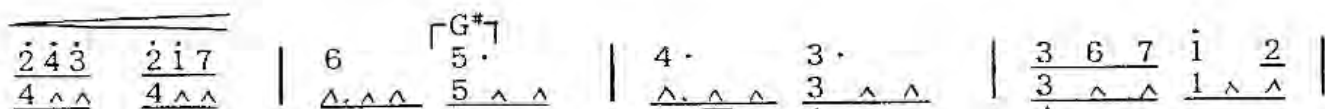
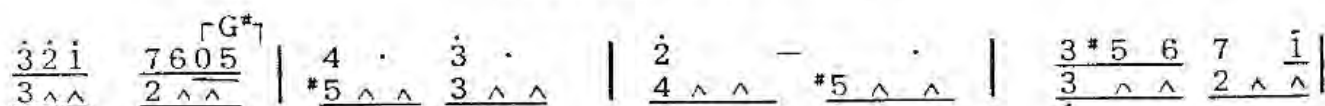
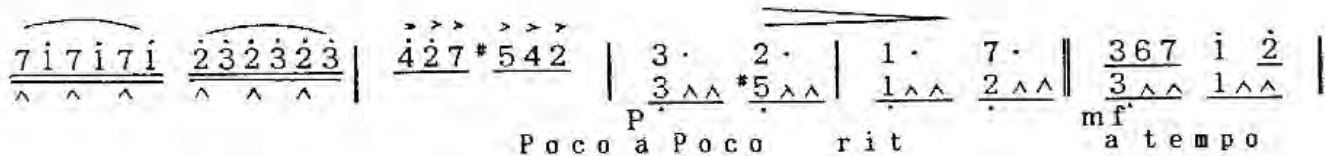
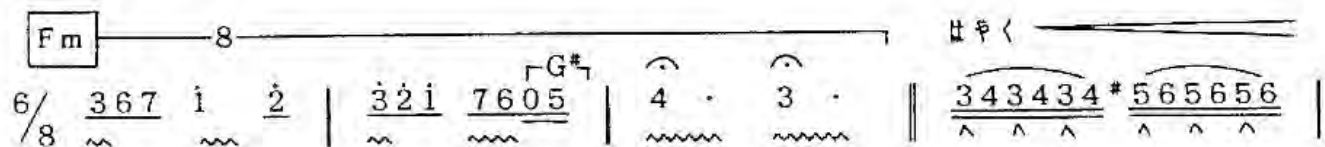
酒井写生

## パリの空の下

ユベール ジロー 作曲

小林 忠夫 編曲

Fm F G#







# How To Enjoy Ensemble (7)

白鳥達夫

さて、今までに覚えて頂いたコード（和音）を整理すると

ハ長調では            C、    F、    G<sub>7</sub>    ( G )

イ単調では            A<sub>m</sub>、   D<sub>m</sub>、   E<sub>7</sub>

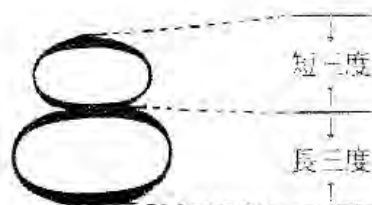
の六種類（正確には七種類）ですが、これをハ長調の音階各音の上に並べて整理して見ると、次のようになります。



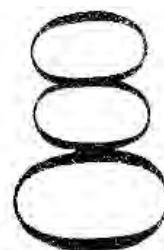
| 長三和音  | 基音      | 第三音        | 第三音         | 第五音     |
|-------|---------|------------|-------------|---------|
| Cコードは | 下からドミソ  | ドとミの間隔は二全音 | ミとソの間隔は一全音半 |         |
| Fコードは | 下からファラド | ファとラの      | //          | ラとドの // |
| Gコードは | 下からソシレ  | ソとシの       | //          | シとレの // |

以上三種類のコードは、下の二つの音（基音と第三音）の間隔が広く、上の二つの音（第三音と第五音）の間隔は半音を含んでいて狭くなっていることにお気づきでしょう。

前回で音階中の半音の個所をご説明したのを思い出して下さい。長調ではミとファの間およびシとドの間が半音で、残りは全部全音なのです。C、F、G、のコードはいずれも下が大きくて丁度お正月の鏡餅のような形と覚えて下さい。下の方の大きな餅は全音二つで、これを長三度の音程（音の間隔）と言い、上の方の小さな餅は全音一つと半音一つで、これを短三度の音程と言います。



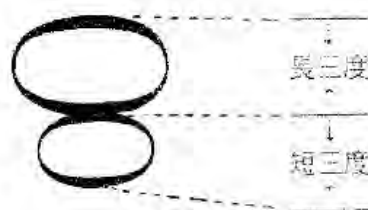
Gのコードは何度もお話したようにもう一つ上にファの音に乗せて属七の和音となり、小さな餅が二つ重なって大きな餅の上に乗った格好になります。



## 短三和音

|               | 基音           | 第三音         | 第三音  | 第五音   |
|---------------|--------------|-------------|------|-------|
| Dmコードは下からレファラ | レとファの間隔は一全音半 | ファとラの間隔は二全音 |      |       |
| Emコードは下からミソシ  | ミとソの         | // //       | ソとシの | // // |
| Amコードは下からラドミ  | ラとドの         | // //       | ドとミの | // // |

この三種類のコードは下の二つの音（基音と第三音）の間隔が狭く、上の二つの音（第三音と第五音）の間隔が広がっています。  
つまり下が短三度で、上が長三度です。これは鏡餅の大小を逆に重ねた格好です。



## 長三和音と副三和音

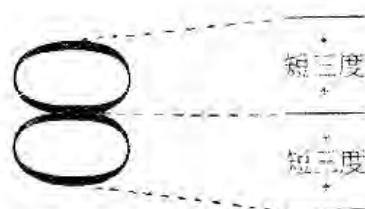
C、F、G、のように下が長三度になっているコードを長三和音（メジャーコード）と言って、ハ長調の中では主役として活躍しますので、主三和音。またDm、Em、Amのように下が短三度になっているコードは短三和音（マイナーコード）と言って、ハ長調ではワキ役を演じますので、副三和音と呼ばれます。

しかし短調の中では、短三和音のAmやDmが主役になり、EmはE♭に形を変えて属七の和音として用いられるのです。

## 減三和音

最後の残った音階シの上の和音

B<sub>dim</sub> は下からシレファ これはシとレ、レとファの間がいずれも一全音半で、鏡餅の小さい方を二つ重ねた形です。前記長三和音や短三和音に対して減三和音と呼ばれ、構成音がG<sub>7</sub>と似ているので、属七の和音の代理をつとめることもあります。むしろもう一つ上に#ソの音をプラスして減七の和音（ディミニッシュセブンス コード）として曲に変化をつける役割を演じます。



主三和音C、F、G<sub>7</sub>と副三和音Dm、Em、Amが全部出てくる次の曲を試して下さい。

# 真夜中のギター

河村 利夫 作曲  
白鳥 達夫 編曲

|   |   |                |          |   |   |   |     |     |   |  |                |                |  |    |                |   |   |  |
|---|---|----------------|----------|---|---|---|-----|-----|---|--|----------------|----------------|--|----|----------------|---|---|--|
| 高 | C | <u>1 1 1 1</u> | 7        | 1 |   | 3 | -   | -   | - |  | <u>1 1 1 1</u> | <u>7 7 1 1</u> |  | 2. | <u>3</u>       | 2 | - |  |
| 和 | C | 0              | C        | 0 | / |   | ./. |     |   |  |                | ./.            |  | 0  | G <sub>7</sub> | 0 | / |  |
| 低 | C | 1.             | <u>1</u> | 1 | 0 |   |     | ./. |   |  |                | ./.            |  | 5. | <u>5</u>       | 5 | 0 |  |

|                |                 |   |   |    |          |   |   |                |                |   |                |    |          |   |   |
|----------------|-----------------|---|---|----|----------|---|---|----------------|----------------|---|----------------|----|----------|---|---|
| <u>2 2 2 2</u> | <u>#1 1 2 2</u> |   | 4 | -  | -        | - |   | <u>3 3 3 3</u> | <u>2 2 2 2</u> |   | 1              | -  | -        | - |   |
| 0              | G <sub>7</sub>  | 0 | / | 0  | Dm       | 0 | / | 0              | C              | 0 | G <sub>7</sub> | 0  | C        | 0 | / |
| 5.             | <u>5</u>        | 5 | 0 | 2. | <u>2</u> | 2 | 0 | 5.             | <u>5</u>       | 5 | 0              | 1. | <u>1</u> | 1 | 5 |

|   |            |                |   |          |            |            |   |  |           |            |                |   |           |            |            |   |
|---|------------|----------------|---|----------|------------|------------|---|--|-----------|------------|----------------|---|-----------|------------|------------|---|
| 0 | <u>5 5</u> | <u>6 6 1 1</u> |   | 3        | -          | -          | - |  | 0         | <u>5 3</u> | <u>3 7 7 5</u> |   | 6.        | <u>7</u>   | 6          | - |
| C | 0          | -              | . | <u>C</u> | <u>///</u> | <u>///</u> |   |  | <u>Em</u> | <u>///</u> | <u>///</u>     |   | <u>Am</u> | <u>///</u> | <u>///</u> |   |
| 1 | 0          | -              | . | 1.       | <u>1</u>   | 1          | 1 |  | 7.        | <u>7</u>   | 7              | 7 | 6.        | <u>6</u>   | 6          | 6 |

|           |            |            |            |  |    |     |   |          |          |  |          |            |                          |   |          |            |                          |   |   |
|-----------|------------|------------|------------|--|----|-----|---|----------|----------|--|----------|------------|--------------------------|---|----------|------------|--------------------------|---|---|
| 0         | 6          | 4          | 3          |  | 2. | -   | . | <u>2</u> | <u>4</u> |  | 6.       | <u>1</u>   | <u>7 6 5 4</u>           |   | 3        | -          | 2                        | - |   |
| <u>Dm</u> | <u>///</u> | <u>///</u> | <u>///</u> |  |    | ./. |   |          |          |  | <u>F</u> | <u>///</u> | <u>G<sub>7</sub> ///</u> |   | <u>C</u> | <u>///</u> | <u>G<sub>7</sub> ///</u> |   |   |
| 2.        | <u>2</u>   | 2          | 2          |  |    | ./. |   |          |          |  | 4.       | <u>4</u>   | 5                        | 5 |          | 1.         | <u>1</u>                 | 5 | 5 |

|                |          |   |   |   |     |   |   |  |                |                |  |    |                |   |   |
|----------------|----------|---|---|---|-----|---|---|--|----------------|----------------|--|----|----------------|---|---|
| <u>1 1 1 1</u> | 7        | 1 |   | 3 | -   | - | - |  | <u>1 1 1 1</u> | <u>7 7 1 1</u> |  | 2. | <u>3</u>       | 2 | - |
| 0              | C        | 0 | / |   | ./. |   |   |  |                | ./.            |  | 0  | G <sub>7</sub> | 0 | / |
| 1.             | <u>1</u> | 1 | 0 |   | ./. |   |   |  |                | ./.            |  | 5. | <u>5</u>       | 5 | 0 |

|          |                |          |                 |    |          |   |   |    |          |          |                |          |          |   |          |  |   |   |   |   |
|----------|----------------|----------|-----------------|----|----------|---|---|----|----------|----------|----------------|----------|----------|---|----------|--|---|---|---|---|
| <u>2</u> | 2              | <u>2</u> | <u>#1 1 2 2</u> |    | 4        | - | - | -  |          | <u>3</u> | 3              | <u>3</u> | <u>2</u> | 2 | <u>2</u> |  | 1 | - | - | 0 |
| 0        | G <sub>7</sub> | 0        | /               | 0  | Dm       | 0 | / | 0  | C        | 0        | G <sub>7</sub> | 0        | C        | C | 0        |  | 0 | C | C | 0 |
| 5.       | <u>5</u>       | 5        | 0               | 2. | <u>2</u> | 2 | 0 | 5. | <u>5</u> | 5        | 5              | 1        | 5        | 1 | 0        |  | 1 | 5 | 1 | 0 |



## 関西ハーモニカ・ポップス 第17回 定期演奏会盛大に開催

昨年11月20日大阪御堂筋の淀屋橋・朝日生命ホールにおいて、第17回を迎えた関西ハーモニカ・ポップスの定期演奏会が、中国・上海から古筝の名手『伍 芳』を迎え、華やかに開催され、ハーモニカと中国伝統の古筝の共演に満員の観客は魅了されました。

今回の定期演奏会は、去る10月30日から4日間、当関西ハーモニカ連盟と関西ハーモニカ・ポップが一体となって実施した「台湾演奏旅行」における、台湾との合同演奏会の報告も兼ねた演奏会でした。

と き・平成4年11月20日（金） ところ・大阪淀屋橋 朝日生命ホール  
プログラム

- |     |               |   |             |
|-----|---------------|---|-------------|
|     |               | 司会 嶋津 寛子  | 編曲・指揮 白鳥 達夫 |
| 第1部 | ハーモニカ合奏       | ＊小学校唱歌メドレー<br>＊夜明けのスキヤットと夜明けの歌<br>＊湯の町エレジー ＊遠くへ行きたい<br>＊台湾民歌～高山青<br>＊ 〃 杵 歌     |             |
| 第2部 | 中国古筝とハーモニカの合奏 | ＊ 秋 江 夜 泊<br>古 箏 独 奏 演奏 伍 芳 小姐 解説 伍 鳴 小姐<br>＊戦 台 風<br>二重奏 ＊荒城の月によせて ハーモニカ 吉森 正隆 |             |
| 第3部 | ハーモニカ合奏       | ＊シ ボ ネ ー ＊ If We Hold On You<br>＊タイースの瞑想曲 ＊序曲 セビリアの理髪師                          |             |

## 町田明夫氏を迎えて 世界民謡を吹く会

昨年11月29日 東大阪市小阪楽器瓢箪山支店において、クロマチック奏者の町田明夫氏を迎え、標記コンサートが関西ハーモニカの友社主催によって、次のとおり開催されました。音響器機の全てを駆逐して的確に計算された多重録音による氏の演奏は、一人の演奏とは思えない音域と迫力に満ち溢れ、さすがに素晴らしいものでした。

と き 平成4年11月29日（日） ところ 小阪楽器瓢箪山支店ホール  
第1部 独奏による世界民謡

|         |                            |
|---------|----------------------------|
| （出演者氏名） | （ 曲 目 ）                    |
| 寺村 安雄   | ＊禁じられた遊び      ＊マドモアゼル・ド・パリ |

| (出演者氏名) | (曲 目)       |              |
|---------|-------------|--------------|
| 宇佐美 進   | *故郷を離れる歌    | *ラ・パロマ       |
| 金川 一    | *帰れソレントへ    | *黒 い 瞳       |
| 織田 太郎   | *夢見る君のワルツ   | *野に咲く花のように   |
| 上野 忠彦   | *山のロザリア     | *ワルツ・アコーディオン |
| 村上 浩一   | *ロンドンデリーの歌  | *サンタルチァ幻想曲   |
| 岡村 貞彦   | *男 な ら      | *アリラン峠の唄     |
| 仲村 眞    | *ステインカ・ラズイン | *行 商 人       |
| 吉森 正隆   | *可愛的故郷      |              |

## 第2部 町田明夫氏の多重録音+ライブ演奏

|     |              |             |        |
|-----|--------------|-------------|--------|
| 曲 目 | *二つのギター      | *五つ木の子守歌    | *草 競 馬 |
|     | *ともしび        | *線路は続くどこまでも |        |
|     | *ゴールデン・イアリング | *アニー・ローリー   |        |
|     | *竹田の子守歌      | *現なまに手を出すな  |        |

町田明夫氏の多重録音ハーモニカ・アルバム（カセットテープ10曲）が発売されました。

税込価格 ￥2,500.-

お問い合わせ先 〒216 川崎市宮前区宮崎3-8-15 町田明夫

関西ハーモニカ・ポップス友の会主催  
**<みんなの楽しいハーモニカ・  
 コンサート>が開催されます**

と き 平成5年1月27日（水曜日）午後6時開演

ところ 大阪市北区中之島 大阪府立文化情報センター  
 多目的ホール

朝日新聞社ビル西隣 住友中之島ビル5階  
 地下鉄四つ橋線 肥後橋駅下車すぐ

入場料 友の会会員は、会員証呈示で無料。 一般入場者 ￥500.-

（ お問い合わせは吉森まで ）

日本ハーモニカ芸術協会関西支部連合会  
指導者講習会及び実験工房開催さる

後 藤 貞 男

日本ハーモニカ芸術協会主催による指導者講習会並びに第5回関西地区実験工房が11月22日(日)、京都教育文化センターで開催された。

この季節とは思われない温暖な気候と、美しい古都の秋に迎えられ、多数の会員が参加した。

午後1時から3時迄は指導者講習会、その後実験工房と進化した。指導者講習会はアンサンプルの指導が行なわれ、合奏自動練習器「俺らトリオ」を使用、説明の後、参加者がA、B、C、の3グループに分かれ、それぞれバス・コード・メロディの3パートによる演奏を体験した。次に全員でロンドン橋を演奏、最後に「俺らトリオ」の質疑応答を行ない終了した。

実験工房では斎藤寿孝先生によるオクターブ・ハーモニカの研究(同氏発行の教材アンサンプル編を使用)が行なわれ、演奏協力として林叔子、細谷行子、塩沢志津子の3氏が参加した。

次に「大きな古時計」の徹底的研究と題し、岸田慶蔵氏のソロ、林氏に加わっての二重奏、アンサンプル・フィオーレ(クロマチック細谷行子、バス塩沢志津子、復音 林叔子の3氏)による三重奏、最後にバックス(復音宇佐美進、バス上野忠彦、クロマチック西本豪介、コード金川 一の4氏)とフィオーレが合同演奏をビートルズの乗りで行ない終了した。

フリースペースでは 牧野ハーモニカ同好会(クロマチック吉見 治、コード竹澤富弘、バス村上博昭の3氏)により「鎌倉」、バックス・アンサンプルによる「小雨降る径」「乾杯」が演奏された。斎藤先生以下演奏協力された方々に全員で拍手を送り終了、芸術の秋を飾るにふさわしい午後のひとときとなった。

関西ハーモニカ連盟会計部長

新会員のご紹介

|        |      |                       |
|--------|------|-----------------------|
| 橋本 隆太郎 | 〒583 | 藤井寺市小山藤美町 15-14       |
| 保田 和子  | 〒530 | 大阪市北区天神橋 2-411        |
| 花岡 眞吾  | 〒562 | 箕面市西小路 3-6-12         |
| 高松 之晴  | 〒562 | 箕面市桜ヶ丘 4-5-4          |
| 中田 庄太郎 | 〒546 | 大阪市東住吉区田辺 4-4-7       |
| 八木 陽子  | 〒591 | 堺市新金岡町 2-1-5-126      |
| 木原 徳夫  | 〒562 | 箕面市半町 2-14-41         |
| 水野 昭三  | 〒558 | 大阪市住吉区長居東 3-15-26-205 |
| 清水 利枝  | 〒581 | 八尾市長池町 2-4-27         |
| 岡田 重忠  | 〒632 | 天理市松垣町 460            |
| 北川 啓太郎 | 〒569 | 高槻市栄町 2-34-3          |
| 眞鍋 仁規  | 〒553 | 大阪市福島区福島 8-3-16       |



## 京都・河原町で

## 年忘れ ハーモニカ・コンサート

飛田 保雄

京都市内の十字屋フォーラムを中心に活動している、小林忠夫先生が主催するハーモニカ教室の、定期演奏会とも言えるコンサートが、新設された十字屋ご自慢のVOXホールで、年の瀬も迫る12月3日開催されました。

出演者は19名で、小林忠夫先生のハーモニカの解説に始まり、最後は和谷篤樹氏の独奏と全員の賑やかな合奏（琵琶湖周航の歌、六甲おろし他）でしめくくる愉快的な演奏会となりました。

会場にはワインも配られ、文字通り年を忘れ気えんもあがり、最後はパンザイ三唱で終る意気上がる演奏会となりました。

と き 平成4年12月3日（木曜日）午後6時

ところ 京都市中京区河原町三条一筋下る東入 河原町VOXビル5階

## VOX ホール

主 催 京都十字屋（株）クリエイティブコンセプト

## プログラム

司会 飛田 保雄

| （曲 目）          | （出演者） | （曲 目）        | （出演者） |
|----------------|-------|--------------|-------|
| 1 ハーモニカ アラカルト  | 小林 忠夫 | 12 黒 い 瞳     | 谷口 昌子 |
| 2 野崎小唄・他       | 神村 勲  | 13 枯 葉       | 梅本 醇子 |
| 3 花嫁さん         | 三原 光子 | 14 月の砂漠      | 吉見 治  |
| （ここに幸あり／瀬戸の花嫁） |       | 15 カッコウワルツ   | 飛田 保雄 |
| 4 愛の挨拶         | 饗庭 茂  | 16 マロニエの木陰   | 長浜 忠夫 |
| 5 さざんかの宿       | 中瀬 清  | 17 いい日旅立ち    | 木下加奈美 |
| 6 カリнка        | 楠田 華子 | 18 雪が降る      | 村田 潤  |
| 7 ゴンドルは飛んで行く   | 奥野 晋吾 | 19 ラ・クンバルシータ | 上本 洋  |
| 剣 の 舞          |       | 20 ビギン・ザ・ビギン | 和谷 篤樹 |
| 8 愛の讃歌         | 小西善三郎 | 21 < 全員合奏 >  |       |
| 9 ゴンドラの歌       | 味木 繁喜 | *琵琶湖周航の歌（益賀） |       |
| 10 リリーマルレーン    | 浅見 満夫 | *祇園小唄（京都）    |       |
| 11 私は街の子       | 脇本 洋子 | *道頓堀行進曲（大阪）  |       |
|                |       | *六甲おろし（神戸）   |       |

## 関西地区のハーモニカ教室（追加分）

| （名 称）   | （所 在 地）        | （代 表 者） | （連 絡 先）        | （定例練習日）         |
|---------|----------------|---------|----------------|-----------------|
| エコー     | 京都府相楽郡         | 上本 洋    | ☎ 0742-43-7738 | 第2第4            |
| 文化センター  | 木津町兜台 6-3      |         |                | 月曜日             |
| ハーモニカ教室 | ☎ 07747-3-0715 |         |                | A.M.10:00～12:00 |



## HARMONICA CONTEST

応募開始：1992年10月10日

締切：1993年1月31日

決勝ライブコンサート：

1993年3月20日予定

主催：F.I.H. JAPAN

(世界ハーモニカ連盟日本支部)

主催：株式会社モリダイラ楽器

後援：M・HOHNER(独)

### 《募集部門》

あなたのハーモニカの種類と演奏形態により、次の応募部門から選んでください。

#### ●ブルースハーブ・ソロ部門

ブルースハーブやマリンバンド等の単音10穴ハーモニカの演奏であれば、音楽的ジャンルは問いません。伴奏楽器を使用する場合は、ピアノまたはギター1台とします。

#### ●クロマチックハーモニカ・ソロ部門

クロマチックハーモニカの演奏であれば、音楽的ジャンルは問いません。伴奏楽器を使用する場合は、ピアノまたはギター1台とします。

#### ●複音ハーモニカ・ソロ部門

ダブルリード(複音)ハーモニカの演奏であれば、音楽的ジャンルは問いません。伴奏楽器を使用する場合は、ピアノまたはギター1台とします。

#### ●アンサンブル部門

複数のハーモニカのみによるアンサンブル演奏であれば、音楽的ジャンルは問いません。鍵盤ハーモニカはハーモニカとは見なしません。

※注意：テープによる伴奏の場合でも、楽器はピアノまたはギター1台の音源に限ります。

### 《参加資格》

ハーモニカによるアマチュアの演奏であれば、どなたでも応募できます。また、ジャンルが異なれば複数の応募も可能です。

但し、過去においてグランプリの受賞者は応募できません。

### 《応募方法》

応募作品1点につき、下記3点のセットを揃えて現金書留で郵送してください。

◆応募カセット：あなたの作品1曲のみを5分以内で録音してください。

◆応募用紙 必要事項を記入しカセットに添付してください。

◆応募費用：¥4,000(現金)

※カセットテープ同封の場合の現金書留料金は定形外料金¥535となります。尚、応募テープは返却はいたしません。

《締切日》1993年1月31日F.I.H.事務局へ必着とします。

### 《申し込み先》

〒101 東京都千代田区岩本町2-7-4

株式会社/モリダイラ楽器内

F.I.H. JAPAN事務局 Ham. Con係

☎03(3662)1641 FAX03(3664)7454

(詳しくは最寄りの楽器店、またはF.I.H.事務局へおたずねください。)



関西ハ一モ二カ連盟  
平成5年1月1日発行  
第115号  
事務局長 新井 善久  
〒600 京都市下京区花屋町通  
西洞院東入 563  
編集局長 上野 忠彦  
〒576 交野市星田 8-2-14